

# 平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

学校法人 谷岡学園

〈大阪緑涼高等学校〉

# 学校法人谷岡学園 平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

## 1 法人の概要

### 1 設置する学校・学部・学科等

#### (1) 大阪商業大学

大学院 地域政策学研究所 地域経済政策専攻、経営革新専攻  
経済学部 経済学科  
総合経営学部 経営学科、商学科、公共経営学科

#### (2) 神戸芸術工科大学

大学院 芸術工学研究科 芸術工学専攻、総合アート&デザイン専攻  
(27年度より募集停止)  
総合デザイン専攻、総合アート専攻

芸術工学部 環境デザイン学科、プロダクト・インテリアデザイン学科  
ファッションデザイン学科、ビジュアルデザイン学科  
まんが表現学科、映像表現学科、アート・クラフト学科

(27年度より募集停止)

先端芸術学部 まんが表現学科、映像表現学科、クラフト・美術学科  
デザイン学部 ビジュアルデザイン学科、ファッションデザイン学科、  
プロダクトデザイン学科、環境・建築デザイン学科

#### (3) 大阪女子短期大学

生活科学科 (ライフプロデュース専攻、食物栄養専攻) (29年度より募集停止)  
幼児教育科 (29年度より募集停止)  
人間健康学科 (27年度より募集停止)

#### (4) 大阪商業大学高等学校

全日制課程普通科

#### (5) 大阪商業大学堺高等学校

全日制課程普通科

#### (6) 大阪緑涼高等学校

全日制課程普通科

#### (7) 大阪商業大学附属幼稚園

## 2 学部・学科等の入学定員、学生数の状況（平成29年5月1日現在）

### (1) 大阪商業大学

学部等	学科〔専攻〕		入学定員	収容定員	入学者数	学生数
大学院 地域政策学研究所	地域経済政策専攻	博士前期課程	10	20	3	8
		博士後期課程	3	9	0	2
	経営革新専攻	修士課程	10	20	1	10
	計		23	49	4	20
経済学部	経済学科		300	1,440	361	1,553
	計		300	1,440	361	1,553
総合経営学部	経営学科		400	1,360	335	1,447
	商学科		150	600	149	641
	公共経営学科		150	600	164	684
	計		700	2,560	648	2,772
合 計			1,023	4,049	1,009	4,345

### (2) 神戸芸術工科大学

※1…平成27年度より募集停止

学部等	学科〔専攻〕		入学定員	収容定員	入学者数	学生数
大学院 芸術工学研究所	芸術工学専攻	博士後期課程	6	18	1	6
	総合7-t&デザ専攻	修士課程	27	54	21	38
	計		33	72	22	44
芸術工学部	環境デザイン学科		70	280	87	243
	プロダクト・インテリアデザイン学科		70	280	72	226
	ファッションデザイン学科		50	200	34	126
	ビジュアルデザイン学科		80	320	77	237
	まんが表現学科		45	180	49	123
	映像表現学科		45	180	59	161
	アート・クラフト学科		40	160	31	109
	計		400	1,600	409	1,225
先端芸術学部	まんが表現学科※1		—	—	—	52
	映像表現学科※1		—	—	—	71
	クラフト・美術学科※1		—	—	—	46
	計		—	—	—	169
デザイン学部	環境・建築デザイン学科※1		—	—	—	83
	プロダクトデザイン学科※1		—	—	—	50
	ファッションデザイン学科※1		—	—	—	62
	ビジュアルデザイン学科※1		—	—	—	107
	計		—	—	—	302
合 計			433	1,672	431	1,740

## (3) 大阪女子短期大学

※2…平成 29 年度より募集停止

学科・専攻		入学定員	収容定員	入学者数	学生数
生活科学科※2	ライフプロデュース専攻	—	—	—	69
	食物栄養専攻	栄養士コース	—	—	—
		製菓コース	—	—	—
計		—	—	—	150
幼児教育科※2		—	—	—	99
合 計		—	—	—	249

## (4) 大阪商業大学高等学校

課程・学科	募集定員	入学者数	生徒数
全日制課程 普通科	325	489	1,344

## (5) 大阪商業大学堺高等学校

課程・学科	募集定員	入学者数	生徒数
全日制課程 普通科	360	411	1,419

## (6) 大阪緑涼高等学校

課程・学科	募集定員	入学者数	生徒数
全日制課程 普通科	160	90	351

## (7) 大阪商業大学附属幼稚園

保育年限	募集定員	収容定員	入園者数	園児数
3歳児(3年)、4歳児(2年)、5歳児(1年)	60	170	52	160

### 3 役員・教職員の人数

#### (1) 役員（平成29年6月1日現在）

理事	理事長	谷岡一郎	監事	岡山栄雄
	常務理事	中井節雄	監事	西村義明
	理事	谷岡瑞子		
	理事	齊木崇人		
	理事	佐藤賢治		
	理事	加藤幸江		
	理事	常岡裕之		
	理事	片山隆男		

#### (2) 評議員（平成29年6月1日現在） 21名

#### (3) 教職員（平成29年5月1日現在）

学校名	教員・研究員	職員	合計
大阪商業大学	218 (109)	165 (19)	383 (128)
神戸芸術工科大学	238 (136)	79 (19)	317 (155)
大阪女子短期大学	54 (35)	31 (13)	85 (48)
大阪商業大学高等学校	106 (37)	17 (1)	123 (38)
大阪商業大学堺高等学校	123 (47)	15 (0)	138 (47)
大阪緑涼高等学校	51 (22)	5 (0)	56 (22)
大阪商業大学附属幼稚園	17 (4)	3 (1)	20 (5)
合計	807 (390)	315 (53)	1,122 (443)

※（ ）は非常勤教職員（内数）、法人職員は大阪商業大学に含む。（役員関係及び兼務者は除く。）

## 2 事業の概要

### 大阪緑涼高等学校

#### (1) 学校基本領域

平成 29 年度は、「笑顔が溢れ、活気のある学校」、「安心して過ごせる学校」、「毎日行きたいと思える学校」、「近隣地域や生徒・保護者から信頼される学校」を目指し、様々な教育活動を行ってまいりました。その中で、近隣中学や塾・保護者・生徒から信頼を回復するため新たな学科を設置し、多くの方々に今後も発展し続ける学校であることを強く印象付けていただきました。法人本部にも色々な方面でご尽力いただき、無事、新学科の設置認可をいただき、平成 30 年度をスタートしています。平成 30 年度入学生は募集定員の 190 名に対して、全ての学科・コースで定員を充足することができませんでしたが、調理製菓科を新設したことにより、様々な場面で注目されたこともあり、昨年度を上回る 162 名の入学者となりました。女子のみで募集を行ったコースについても、近隣中学生の減少、併設短期大学の閉学の影響を考慮しても、ある程度の信頼の回復が結果に繋がっていると考えられます。

平成 31 年度の全学共学実施に向け、新たにコース委員会を設置し、教職員の活発な意見交換を行いました。現在ある進学系のコースを、総合進学コースと保育系進学コースとし文武両道を軸に添えながら学習面とクラブ活動面で活躍できる生徒を育てることを目指しております。男子生徒入学にあたっては、男子も活動できるクラブも視野に入れながら、設備の改善や充実・人材の確保などを検討し、先ずは吹奏楽部から徐々に多くのクラブに広げていく計画をしています。

#### (2) 学習指導領域

平成 29 年度の教育内容について、3 年生の短大コースは高大接続授業で大阪女子短期大学の先生方の協力を得て他短大進学に役立つ内容の授業をしていただきました。当該生徒からも好評を得ていました。2 年生については短大コースに代わる保育・栄養コースを設置し、家庭科教育振興会が主催する検定を受験しました。保育コースは、保育技術検定の取得を目指し、「ピアノ実習」と「子どもの発達と保育」の学習を行いました。栄養コースは、食物調理技術検定の取得を目指し、「フードデザイン」の学習と栄養士を目指し「コンピュータ」の学習を行いました。両コースともに平成 30 年度は上級の検定受験を行います。

大学受験セミナーは、数年前より通塾制を導入し、他校生の学習状況を肌で感じ取ることで進学意識の向上を図っています。平成 29 年度も同様に通塾制は「高学館」に担当していただき、校内のセミナーは「岡本カンパニー」の派遣講師に依頼しました。費用についても無償で受講できるように予算などの調整を図りました。

英語検定については、英検セミナーの外部講師の講習はもとより、英語科教員の努力により合格率が上がっており、1 年生の特別編成コースの生徒は全員が 3 級に合格しています。平成 30 年度の英検セミナーは、準 2 級と 2 級の 2 クラス編成になるとともに、文理進学コースでは英検対策の授業を本校英語教員で行うことになっています。

大学受験も含め学習の基本は、自学自習であることから自学自習の習慣を付けるために、勉強クラブ以外に落ち着いて学習できる自習室を確保し、生徒に活用を促しました。少数ですが自学自習の習慣を身に着けている生徒も見られ、成果が現れてきたのではないかと考えています。

授業アンケート(年 2 回実施)では、生徒が教師を評価することで、授業満足度を上げ、安心感と信頼感を生み出している良い機会になっていると感じています。「本校の教員は教育熱心である」と答えた生徒は 80.3%、保護者は 84.6%、「授業が分かりやすい」と答えた生徒は 77.5%、保護者は 70.7%で、7 割以上の肯定意見をいただいています。教師側としては、「わかりやすい

授業」への改善、工夫に取り組み、自己の力量を高めることに力を注いでいます。次年度は、自由記述に記された意見を真摯に受け止め、様々な改善に努めます。

平成 29 年度から朝の漢字学習に替り読書を始めました。生徒各自が静かに読書をしているため落ち着いた雰囲気の中で生徒朝礼や 1 時間目がスタートできています。ただ、全ての生徒が自主的に読書を始めることができず、担任の指導が必要になっています。今後、指導の進め方を工夫し、生徒が自主的に読書を行い、学力の伸長に繋がれば意義ある活動になると考えています。

### (3) 生活指導領域

ポイント制を導入して 10 年近く経ち、新転任の先生方も増え、ポイント制のメリットである違反生徒には必ず声を掛けるという指導が形骸化してきました。一部の目立つ生徒には厳しく指導していますが、軽微な違反には声すらかけない時もあります。もう一度初心に戻り粘り強く指導することを先生方にお願ひしました。

平成 29 年度の懲戒は、携帯使用 18 件、遅刻 3 件、不正行為 1 件、ネットに関するトラブル 4 件、暴言 3 件でした。携帯電話・スマートフォンの取り扱いについて安易に考えている生徒が見受けられたので、全体の注意喚起もしっかりと行っていきます。

遅刻指導は、その経緯や回数によって懲戒を行うなどの指導を行っていますが、平成 27 年度は 3,235 名、平成 28 年度は 2,676 名と毎年 3,000 名前後の遅刻があります。平成 29 年度は遅刻回数減少に向け、早朝読書と合わせて、遅刻数 3,000 名を下回ることを目標にしました。結果は 2,582 名と減少させることができましたが、生徒総数が減少していることを考慮すると、大きな成果は見られない現状です。

いじめについて、毎学期アンケート調査を行っていますが、SNS などでのネットを介しての書き込み等の嫌がらせが多く発生しています。平成 29 年度は、友人の事を書き込みクラス内で自分の居場所が無くなった生徒が現れ、最終的に転学してしまいました。今後も SNS については、丁寧で生徒に理解させる指導が必要であると考えています。

食育について本校独自の取り組みを実施することを検討していましたが、学年 1 回毎の「朝食バイキング」の実施のみとなりました。短期大学閉学に伴い食堂業者の変更も検討する中、食に関する学科を設置したこともあり、生徒の食に関する健康管理・精神衛生面を充実させる必要を感じております。

### (4) 進路指導領域

平成 29 年度から通塾システムの受講人数を 10 名に限定し、校内セミナーも岡本カンパニーからの講師派遣とし、経費を削減しながら効果的な進学指導を模索しています。

平成 29 年度は、特別編成コースの生徒であっても上位校を目指す生徒がおらず、確実に合格できる大学、通学距離が近いなど、冒険をせず堅実さが目立つ結果となりました。今春卒業した学年は、入学時に入試結果をもとにして特別編成コースへの参加を個別に呼びかけ 1 クラスを編成しました。結果として、学力下位の生徒はいなかったものの積極的に学習し、上位校に進学する意志が全体として高まりませんでした。系列の大阪商業大学に 5 名、桃山学院大学 5 名、四天王寺大学 5 名など 47 名が四年制大学に進学、41 名が短期大学、33 名が専門学校に進学しました。うち看護医療系に 12 名、保育・教育系に 30 名の卒業生が入学しました。94%126 名の卒業生が進学または就職しました。

信頼される学校は、進学面で「豊かな出口」が安定していることが必須条件と考えます。平成 30 年度 2・3 年生にも大学受験セミナーや本校教員の補講などで、受験に向けてのモチベーションの維持と学力の伸長を図ります。また、平成 30 年度入学生は、文理ハイレベルコースとして意識の高い生徒を募集しましたので、今後、模試も含めた PDCA サイクルで偏差値 50 を目指した

学習を行います。

## (5) 入試・渉外領域

同一中学校年間 4 回程度訪問を目標にし、新学科（調理製菓科）・新コースの認可の関係でパンフレットの作成が若干遅れましたが、2 回目以降の訪問を少し遅らせて新学科・新コースの広報を行いました。

昨年度は短期大学の募集停止の影響を受け、教育相談では、80 校 204 名と激減しましたが、大阪府でも珍しい調理製菓科を設置したこと、文理ハイレベルコースとともに共学になったことで、124 校 333 名の相談となり校数人数共に 188 名が入学した 2012 年度の数値に回復しました。

塾対象説明会は例年 80 塾程度の参加者ですが、平成 29 年度は 6 月と 10 月に分けて実施したため、両方に参加された塾も多く、参加塾数は 140 校を超えました。実数は 107 塾となっており、個人塾が減少する中、参加塾が増加したことは新学科・新コースが注目された結果であると考えています。

募集行事について、サマーフェスタは 101 組 173 名の参加、2 回目が近隣中学校の体育大会と同日となり、参加者数を増加させるには至りませんでした。合計で 250 組以上の参加者となり、昨年度より 100 組(166%)の増加となりました。調理製菓科に特化したオープンスクールも 9 月 24 日(日)・11 月 11 日(土)実施し、調理コースに 10 名・製菓衛生師コースに 7 名の受験がありました。

進学説明会は、直接受験に繋がる傾向があり、3 回全てに参加する中学生もいます。全ての回に参加した中学生は、参加者数 294 名中 39 名(13.2%)に留まっています。ただし、34 名(87.2%)が受験しており専願者は 28 名となっています。今年度は、1 回目 146 名、2 回目 143 名の参加者で人数的にはほぼ同数ですが、受験者数では 1 回目参加者 80 名(54.8%)、2 回目参加者 103 名(72.0%)となっており、中学校の進路懇談の結果から説明会に参加・受験となっていると考えられます。

私学展では、短期大学教員でもあるアドバイザーにも参加いただき、ブース以外にテーブルを 2 つ借り来場者に対応しました。結果的に 1 日目 76 名、2 日目 65 名(昨年 49 名・35 名)の来場者となり、受験者も両日ともに 8 名となりました。

出前授業は、昨年度の 4 校より倍増し 10 校からの依頼があり、日程の都合で 9 校での実施となりました。内 2 校は本校に来校し、3 つの講座を体験しました。また、PTA の施設見学・新任教員の施設見学・中学生の施設見学が各々 1 校あり、新学科設置と共学化の影響から注目されることが多くなりました。平成 30 年度は、調理製菓に関する出前授業の依頼が増加することが考えられますので、短時間でコースの特徴を伝えることの出来る出前授業のプログラムが必要となります。

受験者数は、普通科文理ハイレベルコース専願 8 名、併願 50 名、普通科進学コースは専願 61 名、併願 160 名、調理製菓科調理師コース 31 名、製菓衛生師コース 22 名となりました。専願切り替えも含め、入試特待生は S 特待生が 7 名、A 特待生 36 名、B 特待生 52 名と、昨年度よりも増加し、特に調理製菓科に多くの特待生を迎えることになりました。調理製菓科は大阪府でも少なく上位の受験生は学力も高いと考えられます。また、クラブ奨学生は A 奨学生が 2 名、B が 2 名、スポーツ特待生が 4 名という結果になりました。平成 28 年度より実施しているクラブ奨学生は、他の高校と競合すると魅力に欠ける部分があります。

## (6) 教員の研修・研究領域

平成 31 年度以降の本校の「あるべき姿」を教職員全体に伝え、将来構想委員会・コース委員会で、高校の将来構想に大きく関わる男女共学に向け、普通科の新コースを検討しました。コー



スコンセプトやコース目標については一定の枠組みが完成し、教育課程を含めた細部の検討を進めています。特に、普通科の中心となる総合進学コースは、緑涼高等学校の今後に大きくかわるコースになります。

2020 年度から本格的に始まる大学入学共通テストにかかわる部分において、e-ポートフォリオの研修を行いました。実施が早い大学では平成 31 年度入試より、出願要件にポートフォリオの提出が含まれています。平成 30 年度入学生には必須の要件であることは明白ですので、生徒・保護者が不安にならないよう研修・研究をしなければなりません。

## (7) 経営領域

毎年の課題になっています入試特待生制度の給付金について、コース別入試と相談基準の変更することで調整を図り、平成 30 年度分は継続していただきました。ただし、調理製菓科の上位の受験生は学力が高く約半数が特待生となりました。また、中学校や塾からも本校の取り組みに一定の評価をいただき、平成 28 年度並みの生徒を送っていただいた結果、S 特待生 7 名(昨年 1 名)、A 特待生 36 名(昨年 18 名)、B 特待生 52 名(昨年 14 名)、と大幅に増加しました。ただ、財政健全化を考慮しますと平成 31 年度に向けては特待生制度を継続しながらも段階に応じて、人数制限などの調整は図らなければならないと考えています。平成 30 年度は吹奏楽部の活動を前年度以上に進めていきたいと考えております。

## (8) その他の領域

藤井寺市教育委員会の後援を得て毎年行っております書道教育研究会は、平成 29 年度の参加は 6 名と激減しました。毎年 30 名前後の小学校・中学校の先生方に参加していただき、好評を得ております。参加者激減の原因は明確ではありませんが、小学校・中学校の行事と重なってしまったのではないかと考えています。平成 30 年度も小・中学校の先生方に本校を見ていただく機会として継続いたします。

毎年、外部評価の場で地域貢献について話題になります。平成 29 年度は、クラブ生を中心に校外清掃を行いました。また、陸上競技部が小中学生の陸上競技クラブの「なにわ Jr. A. C.」と校内で合同練習を定期的に行っております。今後も、地域に貢献できる活動を行ってまいります。

平成 29 年度も、在校生・保護者の満足度の向上を図るため、アンケート調査を行いました。満足度 6 割台の項目の改善を平成 29 年度に目標にしましたが、生活指導関係の 2 項目と資格取得に関する項目の 3 項目が満足度 6 割となりました。生活指導に関しては、教員の指導に若干のブレが生じ、生徒が不満に思っていると考えられます。全学共学に向けての一つの課題であると考えています。資格取得については英語検定・漢字検定・茶道・情報ワープロ関係など 10 種に及んでいますが、検定の数が少ないと考えている生徒が多いようです。この点についても、生徒への周知を徹底していきたいと考えております。

3 財務情報

資金収支内訳表

29年4月 1日まで

30年3月31日まで

収入の部

科目	部門	大阪緑涼高等学校
学生生徒等納付金収入		119,304,617
手数料収入		5,668,500
寄付金収入		0
補助金収入		220,852,907
資産売却収入		0
付随事業・収益事業収入		35,000
受取利息・配当金収入		18,838
雑収入		25,165,190
借入金等収入		0
計		371,045,052

支出の部

科目	部門	大阪緑涼高等学校
人件費支出		358,238,620
教育研究経費支出		128,252,171
管理経費支出		30,539,256
借入金等利息支出		0
借入金等返済支出		0
施設関係支出		0
設備関係支出		3,491,546
計		520,521,593

事業活動収支内訳表

平成29年4月 1日から  
平成30年3月31日まで

科 目		部 門	大 阪 緑 涼 高 等 学 校
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	119,304,617
		手数料	5,668,500
		寄付金	0
		経常費等補助金	220,852,907
		付随事業収入	35,000
		雑収入	28,789,908
		教育活動収入計	374,650,932
		人件費	350,630,113
		教育研究経費	177,711,273
		管理経費	31,230,304
		教育活動支出計	559,571,690
教育活動収支差額		△	184,920,758
教育活動外収支	収事業の活動の部	受取利息・配当金	18,838
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	18,838
	支事業の活動の部	借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額			18,838
経常収支差額		△	184,901,920
特別収支	収事業の活動の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	319,800
		特別収入計	319,800
	支事業の活動の部	資産処分差額	770,835
		その他の特別支出	0
		特別支出計	770,835
特別収支差額		△	451,035
基本金組入前当年度収支差額		△	185,352,955
基本金組入額合計		△	5,654,318
当年度収支差額		△	191,007,273

(参考)

事業活動収入計	374,989,570
事業活動支出計	560,342,525

※人件費、管理経費には、法人経費が含まれています。